

令和5年度 児童相談所関連研修

# 児童心理司(3～4年目)Ⅰ

日 程

**【第1回】1月15日(月)、31日(水)**

**【第2回】1月16日(火)、31日(水)**

※31日(水)は第1・2回合同実施となります。

対 象

児童心理司3～4年目の職員  
子ども家庭福祉・母子保健等に携わる職員【定員80名】

ねらい

児童心理司(3～4年目職員)として求められる役割を理解すると共に、児童虐待の相談援助等に他職種・他機関と連携しながら的確に対応し、適切な治療的ケア、助言、困難事例への対応等ができる実践的能力の向上を図る。

場 所

特別区職員研修所(東京区政会館別館)  
(千代田区九段北1-1-4)

内 容

1月31日(水)の教科目は、WISCの基礎知識を有することを前提とした講義となる予定です。このため、事前にWISCの基礎を学習した上で受講することをおすすめします。

※研修カリキュラムは、次ページに掲載しています。

# カリキュラム

開催日	教科目・講師名（敬称略）	内容
1/15 （月）  1/16 （火）	<p>9：00～16：00  <b>CARE™</b>            （ペアレンティング・プログラム）  <b>【講義・演習】</b></p> <p>【講師】            北里大学大学院 医療系研究科            発達精神医学 教授 水島 栄</p> <p>CARE™ ファシリテーター            川村学園女子大学教育学部幼児教育学科            講師 白石 優子（1月15日）</p> <p>帝京平成大学大学院非常勤講師            加藤 澄江（1月16日）</p>	<p>「子どもと大人の関係を強化する」CAREプログラムを通して、子どもとのコミュニケーションのスキルアップを図ります。</p> <p>◆CARE™とは？            アメリカ・シンシナティ子ども病院で開発された、<b>親が子どもとより良い関係を築くための養育の技術</b>です。            子ども虐待対応においては、<b>保護者に子どもとの適切な関わり方を学んでいただく際に活用</b>できます。</p>
	<p>16：00～17：00  <b>機能分析的視点を用いた            子どもの行動理解【講義】</b></p> <p>【講師】北里大学大学院 医療系研究科            発達精神医学 教授 水島 栄</p>	<p>CAREを効果的に実施するために子どもの問題行動の「きっかけ」と「結果」に注目して子どもへの理解を深める機能分析について学びます。</p>
1/31 （水）	<p>9：00～17：00  <b>WISC-V知能検査を活用した            子どものアセスメント【講義・演習】</b></p> <p>【講師】国立大学法人東京学芸大学 准教授            小林 玄</p>	<p>子どもを対象とした知能検査“WISC-V”について、結果の読み取り方、支援・アセスメントへの活用等について学びます。</p>
計	14時間（2日間）	

【問合せ先】特別区職員研修所 教務第2課 児童相談研修係

TEL：03-6261-1579

